

令和5年度「附属学校園の非常勤講師の時給について」の実態調査報告

※この調査は全附連調査委員会が主体となって実施したものではありません。

0. 質問項目（回答は140学校園）

昨今、講師不足が附属学校園のみならず公立学校でも大きな課題となっています。とりわけ、非常勤講師においては附属学校園の時給は公立学校と比べてとても低く、非常勤講師が集まらないという状況が慢性化しています。そこで、貴校の非常勤講師の授業1時間当たりの報酬をご教示いただきたくお願いいたします。

○学校名

○回答者（職名・お名前）

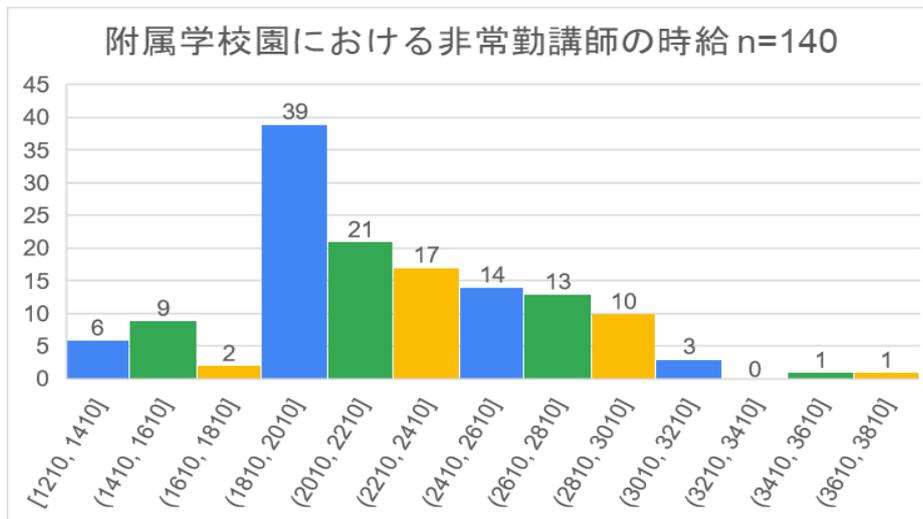
○学校種 幼稚園/小学校/中学校/高等学校/義務教育学校/中等教育学校/特別支援学校

○非常勤講師の授業1時間当たりの報酬

○その他 意見

○附属学校園の非常勤講師の時給 ※年齢等により給与体系が数段階ある場合は平均をとった。

（全体）



平均	2,235 円
最高	3,750 円
最低	1,210 円
中央値	2,200 円

（校種別）

校種	平均
幼稚園(21)	2,019 円
小学校(21)	2,223 円
中学校(41)	2,252 円
高等学校(9)	2,616 円
義務教育学校(6)	2,383 円
中等教育学校(4)	2,288 円
特別支援学校(25)	2,212 円

○その他 意見 ※学校園が特定できる記述等は改変または削除した。

- ・非常勤や常勤講師を学校で探すシステムに無理があると思います。
- ・大学には、勤務経験年数に応じて謝金アップを要望中です
- ・本園の場合は小中とは違い、クラスの副担任として採用しています。また扶養の関係で単価が高すぎて働く時間の制限がかかっております。ですから、職種、採用状況にあわせて非常勤講師の単価も数パターンあった方が良いのかなとも思います。

- ・本校も大学からの支給額が2,000円なので、後援会費（保護者から徴収）から790円をプラスし支給しています。ただし、以前の県の支給額を参考に設定していたので、改めて変えていく必要があります。
- ・本校でも、市内は2,700円ですので、大学院生や本校教員のOB（退職者）以外では、ほとんど受けていただけません。そのため、日中の教員の空き時間をつくってやりたくてもつくりがけない状況です。全国的な状況を知ることができるのは、大学の財務と交渉する際にとても有用で有り難いです。
- ・非常勤教諭（副担任・預かり保育専任）の時給です。この時給は、県内ではかなり高額です。非常勤技能補佐員（副担任の休憩時間に保育をサポート）は、1,300円くらいです。
- ・年齢に応じて報酬が決まっております。2,280円（27歳まで）、2,480円（28歳から32歳まで）、2,900円（33歳から37歳まで）、3,210円（38歳から42歳まで）、3,410円（43歳以上）。
- ・非常勤講師 大卒後経験年数15年以上:2,330円、7～15年未満:2,130円、それ以外:1,930円/ALT:4,000円/スクールカウンセラー:5,000円 となっています。
- ・本学の場合、一律ではなく本人の経験年数や経歴で決まります。それにしても本校でも講師は集まらず、本年度は英語の非常勤を教職大学院の学生にお願いしています。
- ・講師でも職種により時給が違う。数年前に一部時給が上がり、講師確保がしやすくなった。隣接する附属小より100円高い。幼稚園は担任が休みの際に担任として入っていただくことがあるため。
- ・本校でも、次年度の常勤講師の任用に困っております。非常勤講師での対応も考えておりますが、それでも厳しい状況です。
- ・専攻実技の教員が大学と兼ねていることが多く、その関係で昔から他校さんより高いようです(3,500～4,000円)。
- ・本校でも金額差により非常勤講師が確保できず非常に苦労しています。
- ・人事に関しては課題も多く、皆さん悩んでいらっしゃるのではないのでしょうか。また、今後他附属の状況について教えていただきたいと存じます。
- ・しばらく時給は変わっておらず、見直しは必要だと考えていますが、時給を高くしても全体の予算が増えなければ、勤務時間を減らすことになってしまうところが苦しいところです。
- ・非常勤講師については、校園一律です。非常勤よりも常勤講師及び短時間勤務（時間講師）の効率と比較して単価が低いように思われます。人事交流における教諭、管理職の給与及び昇級等においても公立（県立）とのバランスがどうなっているのかについても知りたいところです。
- ・授業者ではなく、非常勤教諭という立場で、公立特別支援学校の介助員のような立場です。
- ・幼稚園と特別支援学校が低く、附小や附中はもう少し高いです。
- ・支給額は、大学支給分と後援会費からの合算です。
- ・意見ではありませんが、補足として。報酬については高校卒業後の年数が関係するため、4年未満は2,400円、4年以上10年未満は2,600円となっています。なお、AETは3,500円となります。
- ・年間の時間数が決まっていて、それが園運営上で困っています。
- ・授業1時間当たりの報酬でお示しするのが難しいです。本校は特任教諭として月額186,000円、年俸額2232,000円で契約しています。
- ・1,300～2,000円 県の場合、公立学校の非常勤講師は授業時数に応じた単価で、1校あたり週8時間程度ですが、本校の場合は単価が低いです。週35時間勤務でなおかつ授業時数ではなく勤務時間なので、ほぼ常勤に近いです。なお、単価の違いは本人の学歴と経験年数で決定されます。
- ・地域によってここまで違うのかと愕然としております。
- ・非常勤の確保は非常に難しいです。
- ・仰せの通りだと思います。直接採用の職員の給与水準も低く抑えられています。他の職員（教頭・事務長）と話をしていると、「国立なので給与は高い」と思っていたとの話を聞きます。また、直接採用した職員から給与が下がって（月2～3万円）びっくりしたという声をききます。こちらも問題かと思えます。
- ・条件により 2,400円 2,194円 1,988円 の3段階。
- ・28歳未満…2,060円、28歳以上33歳未満…2,370円、33歳以上…2,880円、外国籍のALT…4,120円

- ・本校も、まさに今、給与面の安さのため、来年度の講師探しに苦労しています。
- ・本校も、令和3年度まで、非常勤の先生は時間単価2,140円でした。やはり、非常勤の先生のなり手が少ないということで、令和4年4月より、本学附属の学校園長がそろって大学に相談して、附属学校園全体として、時間単価2,900円に値上げしてもらいました。
- ・時給2,050円は27歳まで、28から32歳は時給2,550円、33歳以上は2,760円、39歳以上3,050円。
- ・28～38歳2,680円、27歳以下2,050円地方は特に苦労しております。国立大学法人附属学校園は、学校給食調理員の給与も低すぎて応募がない状況です。
- ・1コマに対して報酬がつくので、教材研究や他教員との打ち合わせ・情報交換などの時間が保障されていないため授業づくりが大変厳しい。教材研究や打ち合わせ・情報交換も授業づくりに欠かせない勤務時間として手当をつけていただきたい。
- ・10年以上の経験がある場合、2,070円。本学の附属学校は一律。
- ・授業時数にだけお支払いしているのか、テストの○付けや評価、実技の場合は、準備片付けの時間は、どのように扱っているのかなど、気になります。
- ・本学では、附属学校園の非常勤講師の採用は想定されていません。
- ・非常勤講師がなかなか来ていただけない現状があり、県立学校の非常勤の報酬2,800円よりも金額を高く設定しているようです。
- ・本校でもこのことは課題となっていて、大学と折衝しています。
- ・本校でも講師不足は深刻です。府や市との人事交流がなかなかうまくいかないのです。
- ・28歳未満：2,060円、28歳以上～33歳未満：2,370円、33歳以上2,880円、外国籍ALT4,120円。
- ・大学を卒業してからの年数による（2,600円～2,900円）。
- ・28歳未満は2,060円、28歳以上33歳未満は2,370円、33歳以上は2,880円。
- ・非常勤講師（ALT）は、1時間当たり3,500円、なお、附属小学校・附属中学校の外国人（AET）は時給3,200円です。ただし、学部卒3年未満の場合は2,400円です。

①全体の傾向

- ・授業1コマあたり2,000～2,400円くらいの設定が多い。
- ・公立学校の非常勤講師に比べると附属学校園の方が安価である傾向がある。そのような理由から、多くの附属学校園で講師が集まりにくい状況がある。
- ・全国の附属学校園間において差が大きい（1,210～3,750円）。ただし、労働条件の違いによる場合が含まれている可能性がある（授業1コマあたりなのか勤務時間に対する単価なのか）
- ・非常勤や常勤講師を学校で探すシステムに大きな課題がある。

②非常勤講師を集める工夫

- ・運営費に寄付金を上乗せして単価を上げる。
- ・年齢や経験によって時給の設定を変える。
- ・月額、年俸制。